

## 血液内科におかかりの患者さんへ

血液疾患は、内科疾患全体の中では約1割に満たない比較的稀な疾患です。頻度の低い難治性疾患の治療成績を向上させるためには、血液疾患を標榜する多くの医療機関が協力し、臨床試験・研究を行う必要があります。

この度、「多発性骨髄腫の患者様」を対象に「診断時の臨床所見」について全国の病院で調査研究を実施することとなりました。この調査研究を行うことで、血液疾患診療の向上に寄与したいと考えておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

診療記録の情報を使用しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

この調査研究では、この調査の対象となる方のカルテ(診療記録)から、下記の情報を集めます。

- ① 患者様の基本情報
- ② 初診時(診断時)の臨床情報
- ③ 治療内容、効果および有害事象
- ④ 転帰

○下記の期間中に、「多発性骨髄腫と診断された患者様」が調査の対象となります。

2001年1月1日から2016年12月31日まで

○お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

必要な情報のみを統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

○この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。その場合は、各病院の担当医にお申し出ください。

研究責任者: 角南 一貴

国立病院機構 岡山医療センター 血液内科

〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

TEL:086-294-9911、FAX:086-294-9255

e-mail:[kazusuna@okayamamc.jp](mailto:kazusuna@okayamamc.jp)

当院以外の研究参加施設

日本骨髄腫学会参加施設